

前橋市立図書館だより

LIBRARY LIFE



前橋市国際交流員
ジェイレン・コックスさん

前橋市立図書館でアメリカ留学を語ろう

令和2年1月24日(金)午後6時30分開始

米国外使館協力



新刊案内

英文サインのデザイン

利用者に伝わりやすい英文表示とは? 小林 章著, 田代眞理著
ビー・エヌ・エヌ新社

日本を訪れる旅行者に不便を感じさせないために文字をどう伝えればよいのか。欧文書体デザインの専門家と実務翻訳家が言葉の選び方を分かりやすく解説する

マリー・アントワネットの衣裳部屋

内村 理奈著 平凡社

マリー・アントワネットの生活と生涯を、豊富なカラー写真と図版に描かれた衣裳から読み解く。フランス貴婦人たちの文化や宮殿の服飾を支える職人にも触れる

世界を変える100の技術

日経BP編 日経BP

2020年東京オリンピック・パラリンピックのテクノロジーは五輪を変え、社会のインフラを変え、ビジネスを変える。編集長30人が100のテクノロジーを解説



私のおすすめの一冊

前橋市立図書館

司書 吉澤 真由

『大手拓次全集 第五巻 日記・書簡他』

大手拓次著 白凰社

磯部温泉の出身で、朔太郎・犀星とともに「白秋門下の三羽鳥」と謳われた詩人・大手拓次の、「人間」にふれることのできる一冊です。収録された様々の日記や書簡、雑纂からは、学生・詩人・会社員としての生活の様子をはじめ、少年愛や美しい女性方への熱烈な愛情、食事や読書や通院の記録、当時の文壇の批評やフランス詩への耽溺、また早稲田大学の卒業論文「私の象徴詩論」に代表される多彩な詩論などを読むことができます。詩作に対する情熱の一方で「近頃新体詩を見ると、それが自分よりうまいと、もう残念で残念で腹が煮へくりかへる様だ。」といった作家志望としての懊悩もつづられ、赤裸々な拓次を垣間見ることができます。作品からとはまた違った拓次像が浮かんでくるかもしれません。朔太郎その人も影響を受けたと告白した拓次の詩と併せて、ぜひ、ご一読ください。



前橋市立図書館 | MAEBASHI CITY LIBRARY

休館日 祝日の場合は開館し翌日休館 12月2日(月)は全館休館日

前橋市立図書館本館、上川淵・下川淵・桂萱・総社・元総社・総合教育プラザ・南橋・大胡・富士見分館	月曜
城南・東・芳賀・清里・宮城・柏川分館	木曜
前橋こども図書館	第4水曜

※12月23日(月)から1月4日(土)までシステム機器更新に伴い全館休館します。この間はウェブサービスの利用も停止します。

早いもので師走を迎えました。今年は秋が短くあっという間に冬がやってきました。冬の星空を眺めながら読書をしてみてはいかがでしょうか。クリスマスや年越しに関連した絵本などもたくさん所蔵しています。児童書は普段本を読まない大人の方にもすんなりと読み進めることができます。

読書お勧めです!図書館をご利用ください。



館長
伊井直文の
つぶやき

vol.7

Since
2019.04



平成から令和に元号が変わった今年、さまざまな出来事がありました。みなさんは、どのような一年を過ごされましたか。図書館をより身近に感じていただくため、本館のふれあい図書館まつりやこども図書館のまえばし人形劇フェスタをはじめ、各分館でも年間通じてイベントを開催しました。どのイベントでも、参加されたみなさんが笑顔で帰られたことを嬉しく思っています。引き続き楽しいイベントを開催しますので、ご期待ください。その一つとして、今号で紹介している留学についてのシンポジウムですが、異文化を知るためのきっかけとして最適なのではないかと思います。私自身、海外に三カ月間滞在した経験があります。同じ地球に住んでいるのになぜか文化が違う。実に貴重な経験でした。最初は言葉がわからなくても何とかなるものです。みなさんのご参加をお待ちしています。(黒崎)

編集よもぎま話

前橋市立図書館
JP-1000546

図書館だより 第356号 令和元年12月発行
〒371-0026 前橋市大手町二丁目12番9号
TEL 027-224-4311 FAX 027-243-1877



WEB
SITE

蔵書検索
調査相談
利用案内



1月5日から利用を開始
図書館システムが新しく



FOCUS

当館の蔵書検索システム（OPAC）を1月5日（日）午前10時から新しくします。更新作業に伴い、12月23日（月）から1月4日（土）まで図書館は全館休館します。ウェブサービスは12月22日（日）午後6時から停止。休館中はインターネットや電話での蔵書検索や予約、延長などの受け付けはできません。

インターネット閲覧端末も館内に導入します



新しい蔵書検索システムでは書影画像付きで本の検索結果を表示できるほか、最大1年分の読書履歴を残すことができます。自身で読んだ本を振り返るのに利用してください。

本館と前橋こども図書館だけでなく、分館15館のOPACを含め一斉に機器を入れ替えます。同館ウェブサイトからも新しい図書館システムが利用可能。スマートフォンからのアクセスは専用の画面で表示されます。また、インターネット閲覧用のパソコンを本館1階と2階の2カ所に設置。図書館での調査研究に上手に活用してください。



文化講演会 講演の映像資料を貸し出し

松平家記録から読み解く武士たちの実相

当館所蔵の群馬県指定重要文化財「前橋藩松平大和守家記録」などの古文書から分かる江戸時代の前橋の様子を紹介するため、前橋藩松平家記録編纂室の駒形義夫さんを講師に毎年開催している文化講演会。7回目の開催となる今回は10月26日に、新たな資料として「在京中日記」を取り上げ、藩日記だけでは知ることのできない当時の情報伝達について解説しました。台風19号が全国へ甚大な被害をもたらしたことに鑑み、153年前の安政江戸台風のルート復元などが現在の防災に役立つことを紹介するなど、時事から歴史に興味を持つきっかけとなる話もありました。この講座を撮影した映像資料を本館にて貸し出します。



前橋こども図書館



EVENT WEB SITE



絵本読み聞かせイベントなど詳しくは同館ウェブサイトをご覧ください。

● ウィンターコンサート

シンガーソングライターのkukuさんが、童謡やクリスマスソング演奏などを行います。
日時＝12月8日（日）午前11時～正午

● 親子わくわくフェスタ

群馬医療福祉大学の学生が紙芝居やパネルシアターなどを行います。



日時＝12月8日（日）・15日（日）午後1時～3時

● たこさんとkukuさんのワークショップ & おはなし会

クリスマスカード作成や読み聞かせを行います。
日時＝12月15日（日）午前10時～正午

● 冬のこどもフェスティバルおはなし会

崩えぎの会が大型絵本の読み聞かせや紙芝居、人形劇、手遊び、歌などを行います。
日時＝12月21日（土）午前11時～正午

● しおり・クリスマスカードをつくっておくろう

群馬医療福祉大学の学生がクリスマスカード作りなどのワークショップを開催します。
日時＝12月22日（日）午後2時～4時

● 新春おたのしみ会

1. 冬の昔話・民話のおはなし会

崩えぎの会が冬の昔話や民話を語ります。
日時＝1月5日（日）午前11時～正午



2. 紙芝居ライブ

ヨロコンデぶっちゃんがギターで紙芝居ライブを開催します。
日時＝1月5日（日）午後2時

3. リレーおはなし会

①たこさんのおはなしや、②駒形読み聞かせの会が登場します。
日時＝1月6日（月）①午前11時 ②午後2時



地域の本当の価値を見出し出してほしい

観光名所からではなく暮らしの中から

前橋市国際交流員
ジェイレン・コックスさん

INTERVIEW

アメリカ大使館から講師を招き留学講座を開きます。この講座で対談に参加するジェイレンさんに異なる文化を持つ国で学ぶ魅力を聞きました。

文化の違いを知ることが文化の発展につながる

自分が生まれ育った国から飛び出し、異なる言葉や文化、世界に触れること。このような経験は新しい世界で活躍する鍵となります。平成27年に岩手大学に留学した経験から、現在は前橋市役所で国際交流員として働くジェイレン・コックスさんは、「留学は旅行とは違い本場の地域の文化や雰囲気、そこに暮らす人の魅力を感じることが出来る」と話します。

「私は米国テキサス州の出身です。この街を訪れる旅行者にはヒューストンにあるNASA（アメリカ航空宇宙局）の見学が人気です。名所だけを見るとそこがその街のイメージのものになってしまいがちですが、テキサス州にはそれだけではない多様性があります。長期で滞在する留学であれば、短期の旅行では見えてこない、その土地特有の文化や人間性などを感じることが出来ます。」

人とのつながりという宝

3歳の時に滞在したことがある沖縄県も、大学生のときに留学でや滞在した岩手県も大好きな街となったそうです。語学留学としての学びだけでなく、日本という1つの国の中にも、文化の違いや地域の特色があふれていると知ることができたと言います。

「岩手大学のある盛岡市は、都

● 人生を変える、アメリカ留学を語ろう

1. 対談『留学が私を成長させてくれた』
▶米国大使館 EducationUSAアドバイザーと前橋市国際交流員がアメリカ留学の魅力を話します。
2. 講演『アメリカ留学への道』

日時 | 来年1月24日（金）午後6時30分～8時
会場 | 前橋市立図書館本館 3階視聴覚室
対象 | 高校生・大学生・社会人など、先着30人
申し込み | 来年1月19日（日）までに電話で同館（☎027-224-4311）へ



EducationUSAは米国国務省の支援を受け、世界170か国以上で中立的な立場から、アメリカ大学留学に関する情報やアドバイスを提供しています。